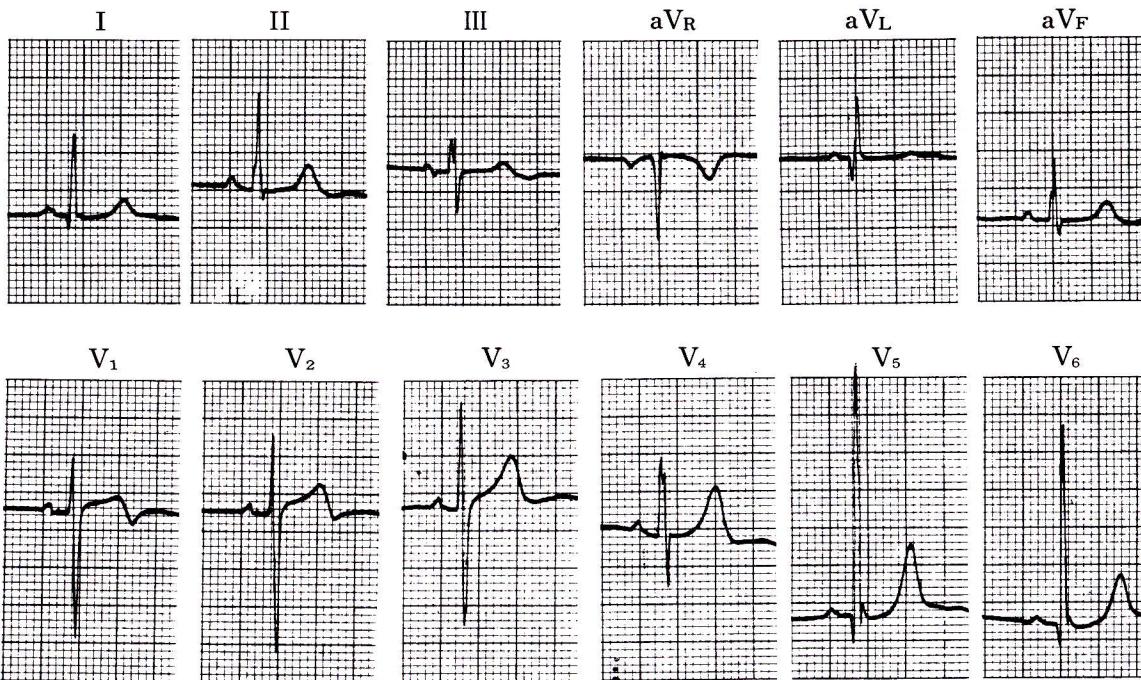


# 症例 17

●42歳 女

- 左第3～第4肋間に拡張期漸減性雑音を聴取。



47

- 1) 心電図診断は。

## 症例17 左室肥大（拡張期負荷パタン）

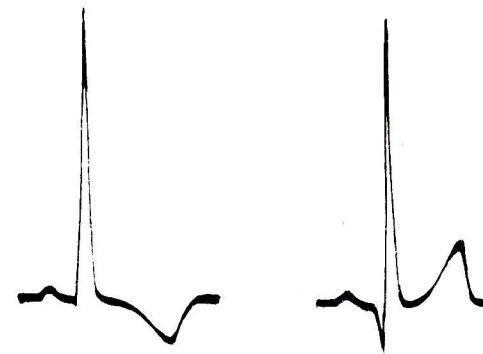
心電図診断

$V_5$ のR波34mm,  $V_6$ のR波26mm. 左室肥大である。 $V_5$ ,  $V_6$ では高いR波に加えて、やや深いQ波、高いT波を有し、左室の拡張期負荷パタンを示している。

### MEMO <左室収縮期負荷パタンと圧室拡張期負荷パタン>

48

心室の拡張期に流入する血液量が増加したとき（拡張期負荷または容量負荷）と、心室にかかる駆出抵抗が増大したとき（収縮期負荷または圧負荷）では心電図波形が多少異なる。左室拡張期負荷では左側胸部誘導に高いR波と心室興奮時間（ventricular activation time, VAT, QRS波起始部からR波の頂点までの時間）の延長、やや深いq波、高い陽性T波を、左室収縮期負荷では左側胸部誘導で高いR波と心室興奮時間の延長、ストレイン型陰性T波をみるとことが多い。しかし、この区別は必ずしも明確なものではなく、たとえば左室拡張期負荷でも、負荷が高度かつ持続し、心筋傷害が生じてくると平低～陰性T波、ST低下を伴ってくるため、収縮期負荷パタンとの差ははっきりとしなくなる。



左室収縮期  
負荷パタン

左室拡張期  
負荷パタン